

地域リーダー育成プロジェクト第2回学び合いの場 開催のご報告

- ◇日 時：平成 29 年 8 月 23 日(水)午後 1 時 30 分～午後 4 時 30 分
- ◇会 場：榛原文化センター3 階大会議室、2 階和室、榛原庁舎 4 階会議室
- ◇参加者：79 人（高校生 44 人、大学生 7 人、大人 28 人）

今回は、「私たちの想いを実現するためにあなたがやってみてみたいと思うことは何ですか」という大きなテーマから、それぞれ話し合いたい問いを出し、興味に分かれて対話を実施しました。全体の進行は、牧原ゆりえさん（一般社団法人サステナビリティ・ダイアログ）に行っていました。



1 市からの情報提供

当事業の概要と、総合計画（市が進めるまちづくりの計画）について説明しました。

市からの説明内容

- ・牧之原市は、人口減少が進んでいるが、多くの人に住んでもらえるまちにしていきたい。
- ・今後のまちづくりのポイント：「若者」。
- ☆若者が魅力を感じる【住環境】【雇用環境】【教育環境】→思いが実現できる地域づくりを◎
- ⇒この場で出た意見や思いをできる限り総合計画に反映できればと考えている。

2 OST（オープン・スペース・テクノロジー）って？～今回の話し合いの進め方を説明～

【↓こういうときに OST を実施すると良いみたいです】

【「OST」とは？】

大まかなテーマに沿って、参加者自らが解決したい問題や議論したい課題を提示、進行の段取りも自主的に決める方法。「想いを実現する」場にしていくために今回実施しました。


【↓OSTに参加するときの心構えです】

【↓参加者一人ひとりに役割があります。あなたはどれ？】


キーワードは「2本足の自由」。自分にとって学びがないと思ったら他の場所に移動しても良い。自分にとって有意義な時間を過ごそう。

3 「私たちの想いを実現するためにあなたがやってみたいと思うことは何ですか」～問いを出そう～


このテーマのもと、個人で話し合いたい「問い」を考え、5つの問いが挙がりました。




「落ち着く町に帰りたい～顔の見える関係～」
(山下さん)




「どんな方法で想いを伝えるのが良い？」
(中嶋さん)



「『いやだ』が持つ重み」
(増井さん)



「本音で話し合える？」
(板倉さん)



「自分の想いの探し方って？」
(榎林さん)

みんなの前で自分が考えた問いを出すことはとても緊張したと思いますが、5人の勇気により、対話を行うことができました。

4 オープン・スペース～各テーマに分かれて対話～

5つに会場を分け、「2本足の自由」のルールで「話したい」というテーマに分かれて対話を行い、内容をまとめました。まとめた内容は以下のとおりです。



テーマ	3つのポイント	協力してほしい人	自分たちの強み	次にやってみたいこと
落ち着く町に帰りたい ～顔の見える関係～①	①外の人に来てほしいから魅力をアピール②働く場所③交通	JR/しずてつ/市役所(交通)/市長	発想	発信
落ち着く町に帰りたい ～顔の見える関係～②	①今の地元だからこそ帰ってきたい②祭りが盛ん③人の繋がり	市長	地元愛	ローカルこそグローバルに！
どんな方法で想いを伝えるのが良い？	①コミュニケーション能力(話す・聞く両方)②技術③パッション	外国人/外国人と働く人/外国に長期滞在した日本人	パッション、ノリ	実際に外国人としゃべってみたい
「いやだ」が持つ重み	①目的を共有②理由をはっきり伝える③断るだけでなく提案に結ぶ	地元の人	積極的に話しているところ	地域の場で経験を増やす
本音で話し合える？	①敬語の中で本音は伝えられる②本音だからといって構える必要はない③本音とは「話そう」とするのではなく思ったことを口に出すこと	中学生や高齢者など様々な年齢の人	自分の意見を持つ人同士の話し合い	中学生や高齢者などの違う年齢の人を呼ぶ
自分の想いの探し方って？	①色々な人と話してみる②強い想いがあれば…③自分や相手への寛大さから生れる場の信頼感	このグループにいないタイプの人	受け止める姿勢があること	想いを表現する



5 アンケート～「イマキク」というスマホのアプリを使い、その場で感想を聞きました～

●今日はどんな役割で参加したか？

●多世代で話してどんなことを感じたか？

●今日の満足度

火：6人

チョウ：9人

(抜粋)

とても満足：15/満足：28/普通：7/不満足：1/とても不満足：1



- ・高校生の牧之原愛が嬉しい予想外でした
- ・高校生には迷いが、大学生には固定観念

ハチ：6人

薪：48人

●今日やってみて収穫できたもの(抜粋)

- ・コミュニケーション能力の大切さに気付けた。
- ・話す側だけでなく聞く側も大切。

「世界が広がった」「楽しかった」「非日常感」「積極的に話さず後悔」「腑に落ちなかった」「人の考えがわからない」等、色々な感想がありました。ありがとうございました。

6 ご来賓・北川正恭さんからコメント

- ・高校生と大人のワークショップはものすごいこと。一人ひとりが話しやすい場をつくり、みんなで決める。
- ・対話を繰り返し、まちをつくり変える。みんなで良いまちにしていく。牧之原から静岡へ。静岡から日本へ。

安心して話ができる「場」や「人との関係性」が求められているのではないかと感じた第2回でした。

牧之原市をどんな地域にしていきたいか、今後も皆さんと考えていきたいと思っております。

ご参加いただいた皆さま、ありがとうございました。ご不明な点やご意見などもぜひお聞かせください。